

## まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	フェーズフリー（平時と有事をワンセット）な防災企画チーム
まちづくり活動名	日常のまちづくり活動に非常時の共助を合わせ織り込む活動
活動地域	緑区鳴海学区内 上汐田自治会をベース拠点に鳴海駅の周辺地区で活動
活動の背景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 鳴海駅周辺は過去に扇川の氾濫で床上浸水を2度も経験しているため、地域住民の災害へ危機意識は非常に高いといえる。 しかしながら、もしもの大型台風や東海・東南海地震等への防災対策は、発生頻度の低さから危機意識が継続せず、重要と考えながらも優先度が上がらずなかなか進んでない状況にあった。</p> <p>そこで、全国の活動を調査する中で、「フェーズフリーという概念、平常時と災害時を分けない施策」にヒントを得て、日常の見守り活動や清掃・草刈り・剪定等のお手伝い活動の取組み方をちょっと工夫し、そのまま有事の災害にも備えることができないか検討の方向性を転換し、有志メンバーを募り着手することを企画した。 まずはスタートアップ部門で取組み、活動内容を向上していきたい。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■目的 単独では進まなかった自主防災力の強化を、平常時は自主的に実施している行事・お手伝い活動を工夫してワンセットで実施すること。</li> <li>■目標 日常的に役に立ち、いざ災害でもワンセットで役に立つ事例を検証すること。共感を得た地域住民が自主的に参加し実践すること。</li> <li>■成果 自助・共助の意識を高めた地域住民の自主防災力が強化されること。まちづくり活動を少数でも楽しく負担なく楽々と推進できること。</li> </ul>
活動内容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴海駅周辺には、多数の自治会や子供会が存在するが、本活動は自主的な独立した活動であり、これらの機関の予算を使って行うものでない。</li> <li>・地域住民への啓蒙活動 防災意識の高揚 日頃の見守り活動や清掃・草刈り等の活動報告を瓦版式に紹介しつつ、同時に防災に関する記事を掲載し、助け合いの重要性を繰り返し啓蒙する。 →名古屋市提供のハザードマップや避難所、近隣の臨時トイレ等を紹介</li> <li>・要避難支援者の情報収集とスマホを活用した連絡ネット 民生委員の要支援対象者等の情報を元に要避難支援世帯を非難ルートマップに記載し連絡ネットを作成（日頃の近所付き合い情報を重要視）</li> <li>★スマホの日常利用と災害時の利用を高齢者向けに支援 コロナワクチンのスマホ予約や買物や各種申請のスマホ決済が進展し、高齢者もICTを活用できないと生活できない環境になってきている。 LINE利用の災害アプリも無料で有効活用できる環境が整いつつある。</li> </ul>

	<p>高齢者向けのスマホ活用支援策を参考シート・相談学習会等を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常時の公園草刈りやキャンプ行事に活用でき、災害時にも防災機器に流用災害に強いLPガスの卓上発電機があると、日常的な公園の草刈りやキャンプ行事などにも利用できる。LPガス配給の事業所も地域内にあるので、災害時の炊出しも具体的に計画できる。</li> <li>・お助け隊活動を通じたフェーズフリーな防災用品の紹介 住民へのお手伝い活動として、庭木の剪定作業や大型ごみの移動の支援と同時に、家具転倒防止の支援や日常使いができる防災用品の紹介もする。 例 バケツになる撥水バッグ・風呂敷、キャンプ用品、保存食 など</li> </ul>	
活動予定期間	令和4年4月 ～ 令和5年3月	
助成金交付申請額	50,000円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p><b>審査基準①</b> <b>必要性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区の住民は、過去に2度も床上浸水を経験し災害への危機意識は高いので、参加意欲は強い。</li> <li>・自治会でも鳴海学区の防災活動には参加しているが、2年の任期交代制なので後回しになる。</li> <li>・自主的に青パトや通学見守り隊、公園の清掃、草刈りや庭木の剪定等のお手伝い隊を実施しており、ポテンシャルは十分にあると考える。</li> <li>・ただし、複数の自治会や子供会とは独立した活動であり、これらの予算を使って行うものではない。自主自立的で地域横断的な活動に助成制度が活用できれば、すぐに着手できる。</li> <li>・本活動の「平時と災害事をワンセットで考える手法」は、自助や共助への応用範囲が広いので多くの人に理解や共感を得ることができると考える。</li> </ul>	
<p><b>審査基準②</b> <b>実現性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的にになっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容は、住民の共感と達成感を大切に、初年度は以下に焦点を絞って進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① スマホの日常利用と災害時の利用 特に高齢者を対象にリテラシー向上を図る。 分かりやすい小冊子の配布・相談会 希望者の多数の場合は学習会等を実施</li> <li>② お助け隊活動により、高齢者の日常の課題解決から非常時の防災対策を実施する。 庭木の剪定、草刈り、大型ごみの処分に加えて、地震に備えて家具の転倒防止作業を支援</li> <li>③ 公園の草刈り、一斉清掃を自主的に実施しながら同時に、地域内の防災拠点として活用できる施設・装備力を現場現物で検討し、具体的な自主防災計画に反映する。 例 自家発電機は平時も非常時にも有用 炊出し器材は平時の行事や災害時に活用可</li> </ul> </li> <li>・活動内容の資金計画は、費用対効果を考えながら以下の2点に工夫しながら支出する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① インターネット・書籍で参考になる情報を整理し、深くは専門家からヒヤリングする。</li> <li>② 検討結果を分かりやすい表現方法に留意しながら資料作成し、広報活動に活用する。</li> </ul> </li> </ul>	

・本提案を始動するためには、8名程度が適当である。各メンバーの人脈を通じてバックアップしてもらえ人数は50名ほどになる。鳴海駅周辺の自治会が協力先であり、300世帯程度がモニター先になり妥当である。

**審査基準③**  
**発展性** ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか  
 ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)

・発展に向けての視点と計画

コロナ禍の影響で多人数での会議は難しいので、町内の一斉清掃や公園の環境整備の機会を利用し広報する。平時と有事をワンセットで考える取組みに共感し積極的なメンバーの拡大を図る。

初年度の検討成果は初歩編であり、さらに2年間で中・上級編にレベルアップしていく。

まずはメンバーの知見を活かし、不足ならメンバーの人脈を通じて専門家にヒヤリングする。

当地区には、住宅の中にLP事業者や自動車学校等があり、住民と事業者との共同で災害時の防災強化に検討を進展させることも計画している。

消防団の経験者や青パト車に乗り地域の防犯活動に参加したメンバーもいるので、本活動の提案が絵に描いた餅にならないように、より実現可能な提案に仕上げていく。

・地域のまちづくり活動への波及効果

フェーズフリーという概念はまちづくり活動の今後の発展に大きく寄与するものと期待している。

リソース不足で自主防災計画が進んでいない自治会や中小企業でも容易に取り組むことができる。

コロナ禍の影響で自宅にひきこもる生活に慣れてしまった感がある。地域で助け合うという気持ちが薄れつつある。本活動で他人を思いやる心を忘れないようにまちづくり活動を進展させたい。

本活動がヒントとなり、他のまちづくり活動を展開する団体も増えていくことを期待している。

他との交流の場が刺激になり、より大きな波へと発展することができる。

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
緑区役所 総務課 地域防災担当	コロナ禍における避難所の収容できる実際人数
緑政土木局 緑土木事務所	扇川の警戒水位情報、排水ポンプ場の能力増強
緑消防署、鳴海消防団	防災訓練の工夫、自宅・公民館の必要防災備品
スマホ利用講習会の講師	LINE を利用した広報伝達、非常時の安否確認
近隣のLP事業者、高層ビル、自動車学校等	非常時の施設・場所利用の協定内容の検討

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2022	4	活動内容の方針検討	全国のまちづくり活動の内容を調査。 「フェーズフリー」を活動方針に内容の検討
	5	申請書の作成	新たな視点で取り組むため スタートアップ部門として申請書を作成
	6	助成決定後に キックオフ検討会	年間計画に基づき、各担当を主体に協議を確認
	7	先進事例の調査	参考になる先進的な自主防災対策の事例研究
	8	要避難支援者への対応	安否確認方法と避難所への誘導ルート等の検討
	9	広報① スマホ活用 LINEで連絡網	ワクチン予約等で高齢者もスマホ利用が必要だった スマホを日常で活用し、災害時にも有効に活用
	10	地域住民への 防災力実態調査	現状の防災力を把握し（自助）、地域の助け合い で強化すべき施策（共助）を整理
	11	広報② 自宅の防災 高齢者へお助け隊	平時の庭の草刈り・木の剪定に加え、非常時の 家具転倒防止の支援等もワンセットで実施
	12	地域内の利活用施設	避難所の収容能力、下水場の排水能力等を調査 LP事業者、高層マンションとの協力依頼
	2023	1	広報③ 避難所の防災 環境美化&災害対応
2		活動内容のまとめ →活動実績報告書	2月末までに、活動実績報告書を提出
3		次年度に向けた 活動計画の策定	次年度の活動計画を立案 中期的な実行計画の検討（3年程度）

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

## 1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			50,000	
活動経費の内訳	消耗品費	本活動の 検討資料作成	コピー用紙、ファイル、封筒、付箋等 印刷用のインクジェットの補給インク	5,000 4,000
		コロナ対策	会議時のアルコール消毒剤	3,000
		草刈り作業備品	軍手、ビニール袋	1,000
		草刈り飲物代	草刈り作業参加者の飲物代 100円×30人分	3,000
	印刷費	広報活動 広報用チラシ 説明用テキスト	チラシ印刷 200部 テキスト印刷 50部	10,000
	物品費	活動の電子記録	USBメモリー2ヶ (作成書類用、デジカメ記録用)	4,000
	資料費	参考資料の購入 関連書籍	自主防災の参考になる参考図書 図書館、ネットで無料入手できない情報 4冊程度	5,000
	賃借費	検討会の会場費	公民館の会場利用代 1000円/半日×15回	15,000
	支出合計			50,000

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。